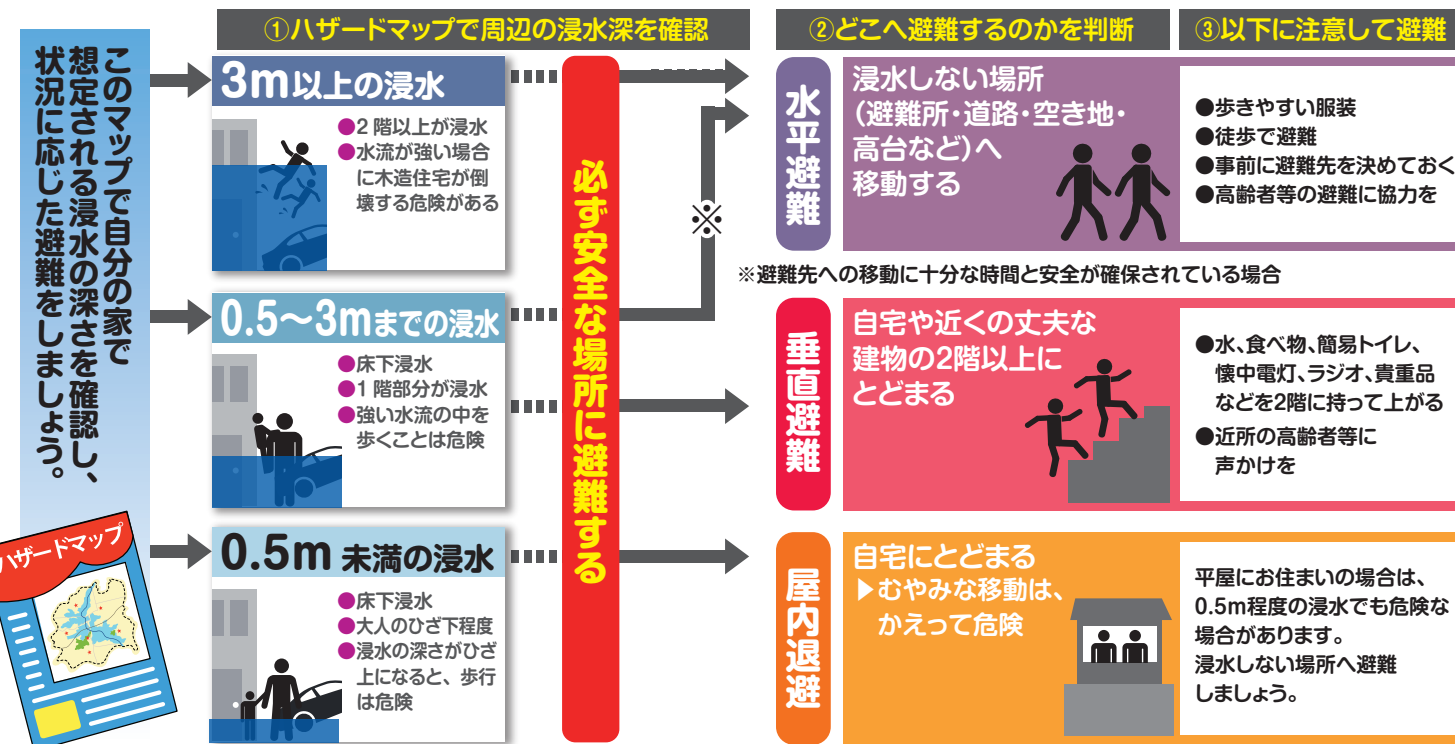


■状況に応じた避難をしましょう

▶ため池決壊による浸水の深さを想定した避難の流れ 命を守るための基本行動



■ため池ハザードマップの活用方法（日頃から備えましょう）

1 想定される浸水区域や深さなどをチェックしましょう。

- 浸水深や氾濫水の到達時間に応じた避難を考えましょう。
- 災害時の様々な事態をイメージしましょう。



2 わが家の避難場所を決めておきましょう。

- 浸水深や氾濫水の到達時間より、どこへ避難するかを決めておきましょう。
- 浸水深が0.5m以上（1階の床上相当）の区域は、緊急避難できる身近な場所も探しておきましょう。



3 わが家の避難場所までの避難経路を考えましょう。

- 避難場所まで実際に歩いて、移動時間を確認しておきましょう。
- 避難途中で浸水した場合に緊急避難できる場所を探しておきましょう。



4 日頃から家族や地域で話し合ひましょう。

- 災害時に協力し合えるよう、日頃から家族や地域で役割などを話し合ひましょう。
- 避難の際に支援が必要な高齢者など配慮の必要な人への情報伝達や補助内容を決めておきましょう。



5 防災情報の入手先を確認しておきましょう。

- ため池決壊の原因となる大雨等の気象情報や防災情報がどこで入手できるかを確認しておきましょう。



6 市町村、県の公表している他のハザードマップ等もご覧ください。

- 市町村、県では各種防災マップ「ハザードマップ」、「浸水想定区域図」等公表しています。このマップと併せて活用し、急な事態へ備えましょう。

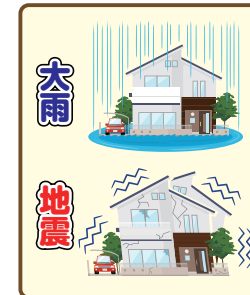


古屋池ハザードマップ

問合せ先 綾町役場 建設課 0985-77-3467

この「ため池ハザードマップ」は古屋池堤体が万が一決壊した場合に想定される浸水状況や避難に役立つ情報をまとめたものです。迅速かつ安全に避難するために役立ててください。

■ため池決壊について



大雨が降り続いたり、地震が発生した時は、ため池が決壊する恐れがありますので、決壊する前に早めの避難を心がけてください。

災害事例 広島県では…

平成30年7月豪雨では、西日本の2府4県で32か所のため池が決壊しました。特に広島県では、ため池上部のグラウンドの崩壊による土砂流入によってため池が決壊し、死者1名、負傷者4名の被害がでました。

■行政からの呼びかけ（避難情報）に注意しましょう

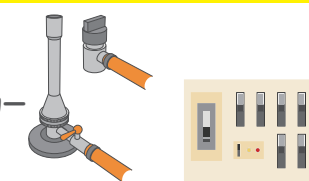
警戒レベル	新たな避難情報等
5 災害発生又は切迫	緊急安全確保※1
～＜警戒レベル4までに必ず避難！＞～	
4 災害のおそれ高い	避難指示
3 災害のおそれあり	高齢者等避難※2
2 気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）
1 今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報（気象庁）

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人にも必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

■避難行動の心得を確認しましょう

避難する前に
ガスの元栓・
電気のブレーカー
をチェック



安全なルート①
避難するときは、
地すべりやがけ崩れ
など土砂災害の
おそれのある箇所は
避ける



避難は徒歩で
決められた避難所へ
できるだけ集団で避難
非常時持ち出し品を
忘れずに



安全なルート②
避難するときは、
高い道路を選び、
水路などに十分注意



協力し合って
避難するときは、
近所のお年寄りや障がい者
などに声かけ協力



NTT災害用伝言ダイヤル

伝言の録音

171+1+被災地の方の電話番号→録音

伝言の再生

171+2+被災地の方の電話番号→再生

ため池ハザードマップ

-古屋池-

このマップは、ため池が決壊した場合にどのような被害となるかを知るために、
ため池の全ての貯水量が流出する状況を想定しています。(浸水の深さを色で示しています。)
表示されている範囲外でも、被害が発生する可能性があります、注意が必要です。
早めの避難を心がけましょう!!

